

▶林業作業現場で作業の説明を受ける



先日、市内行幸田地内の林業作業現場に視察に行きました。山林所有者の委託を受けて、渋川広域森林組合が作業しています。かつてのチェーンソーや斧おのを使う山仕事と違って、林業の



機械化が進んでいることに驚きました。タワヤーダ、フェラーバンチャ、ハーベスタといった大型機械を駆使して作業道を切り開き、機械のチームで木をつかんで枝払いをし、一定の長さに玉切りをして、トラックに積み込みます。残った根っこも機械で引き抜き、あつという間に作業が進んでいきます。作業に従事しているのは、20〜30代の若者です。林業が好きでこの仕事に就いたと話していました。渋川市は、面積の54%が森林です。森林は、木材として建築や家具に使われるだけでなく、治山や治水など災害から国土を守る役割、水を蓄える緑のダム^①の役割、CO₂を吸収し地球環境を守る役割など、私たちの暮らしに欠かせない大切な役割を担っています。間伐や枝打ち、下草刈りなどの手入れをした山は、とてもきれいです。御神木、霊山など、昔から木や山には神が宿るといわれています。不法投棄や無断伐採をしないで、森林を大切に守りましょう。

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館(☎253215)

美術の小窓



《佇立》
蓮田 修吾郎 作
1989年
高さ：350cm
素材：鋼板

蓮田修吾郎(1915-2010)は、金属工芸の世界に彫刻的な要素を取り入れ「金属造形」という新たな分野を開拓した鋳金家です。手に取れる大きさで制作されていた工芸作品は、1970年代には屋外へと展開され、日本各地で蓮田の公共彫刻が見られるようになりました。

作家は「多忙な現代社会の中で自己を見出し、さらに確固たる自己を築くために必要なのが『佇む』ことである」と語りました。この作品は、雄大な赤城山を背景に、自分を見つめ、次なる一步を踏み出すための節目を示唆しています。市総合公園内の体育館東側の遊歩道に設置されています。

●市美術館は、移転のため休館しています

地域おこし協力隊 長沼隊員のおすすめスポット — Vol.20 —



こんにちは！11月といえば紅葉の時期！皆さんどこかに行かれる予定はありますか？遠くへ出かけなくても河鹿橋、上ノ山公園、市総合公園、赤城自然園などなど渋川市内には紅葉スポットがいくつもあります！今年は渋川で紅葉巡りなんていうのもいいかもしれません。

今回こちらに載せている写真は上ノ山公園の紅葉です。一面がオレンジ色に染まり、心ときめくこの空間は、とってもきれいで感動的です！ぜひ、伊香保ロープウェイで上ノ山公園の紅葉を目指してみたいはいかがでしょうか！

